

第2回総合特区 デイサービス改善インセンティブ事業説明会 次第

於：岡山市ふれあいセンター

【スケジュール】

- 17:30～ 受付
- 18:00～19:30 事業説明(質疑応答含む)
- 19:30 説明会終了

【配布資料】

- ・ 資料1 デイサービス改善インセンティブ事業
- ・ 資料2 デイサービス改善インセンティブ事業 評価項目・指標一覧
- ・ 資料3 平成25年度に行ったアンケート調査結果
- ・ 資料4 総合特区デイサービス改善インセンティブ事業に
係る調査票について(依頼)
- ・ 参 考 介護プロフェッショナル キャリア段位制度パンフレット

デイサービス改善インセンティブ事業

資料1

通所介護事業所の介護サービスの質を評価し、積極的に利用者の状態像の維持・改善を図る事業所へインセンティブを与えることで、事業所の介護サービスの質の向上を図るとともに市全体のデイサービスの質を向上させることを目的としています。

サービスの評価項目の選定(平成25年度)

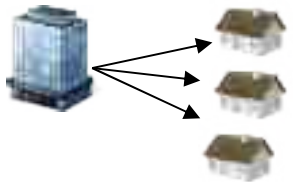
インセンティブ事業スタート(平成26年度)

①

サービスの質を評価する項目(価値)・指標を、岡山市、通所介護事業所と共同して選定

岡山市

事業所



意見交換・アンケート

【評価指標】

- ・外部研修の参加状況
- ・市主催の研修の参加状況
- ・認知症高齢者の受け入れ人数
- ・機能訓練指導員が有している国家取得者人数
- ・介護福祉士の人数

評価指標のベンチマークを設定

②

評価指標のデータの収集

- ・H26. 6月、12月に説明会開催
- ・市内事業所へ調査票の発出

④

介護職員スキルアップ研修の開催

- (年3回程度)
- ・外部講師による講演
- ・先進事例の発表など

③

○調査の結果、評価指標の達成事業所を抽出

○指標達成事業所のうち、アウトカム評価が高い事業所を表彰(奨励金を付与)



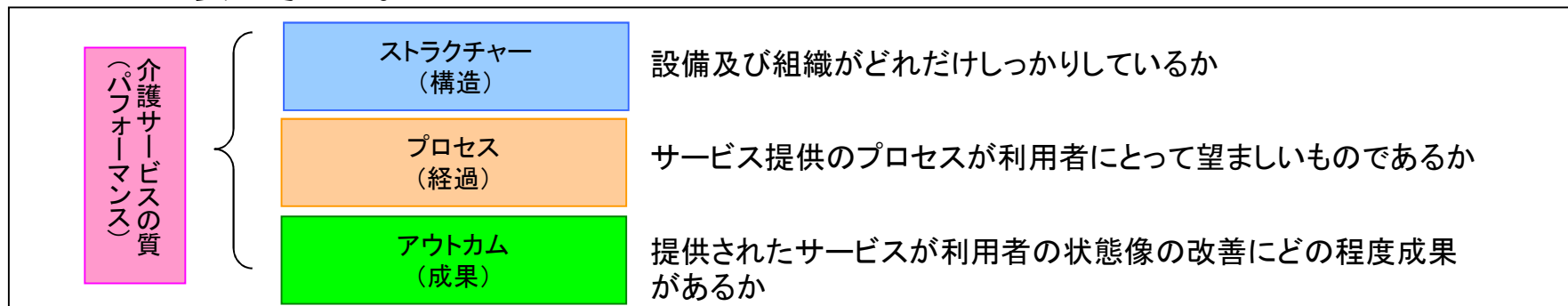
○情報公開を行い、質の高い取組みの普及を図る

質の評価検討ワーキングチーム: 岡山大学大学院教授、兵庫県立大学大学院教授(前国立保健医療科学院統括研究官)、岡山市
評価項目・指標の確立、分析項目の検討等を行う。

- ・中間評価項目得点経年調査・分析
- ・インセンティブ事業の効果分析

介護サービスの質を評価する

介護サービスの質を評価する場合、そのアウトカムだけに着目するのではなく、ストラクチャーやプロセスを評価することが重要と考える。



質を評価する項目(価値)・指標の問題

デイサービスには様々な事業所があり、その質を評価するには、複数の項目(価値)が存在し、その項目(価値)の中に各指標が存在する。

- ・預かり機能(レスパイト)に特化したサービス
- ・機能訓練を中心とした自立支援の要素の強いサービス
- ・専門性を持って認知症ケアに特化したサービス
- ・ナーシング機能を持つサービス 等



まずは市内全通所介護事業所が質の評価に取り組むことが大事。
そして、質の高い取組みの情報公開等を実施することで、介護サービスのボトムアップを図り、利用者の状態像の維持・改善につなげ、将来的には利用者の「自立」を目指す。

岡山市の通所介護サービスの質の評価階層図

共通理念

介護保険の理念
「自立」

事業所が達成すべき
具体的な目標

状態像の維持・改善
(利用者のQOLの確保)

メリットを受ける
当事者の明確化

利用者

従事者

地域

サービスの質を評価
する項目(価値)

介護
技術

事業所
の意識
向上

従事者
支援

地域住
民の意
識向上

指 標(イメージ)

ストラクチャー
(構造)

国家資格
取得者

国家資格
取得者

有給取得率

プロセス
(経過)

キャリア
段位

実習生
受け入れ

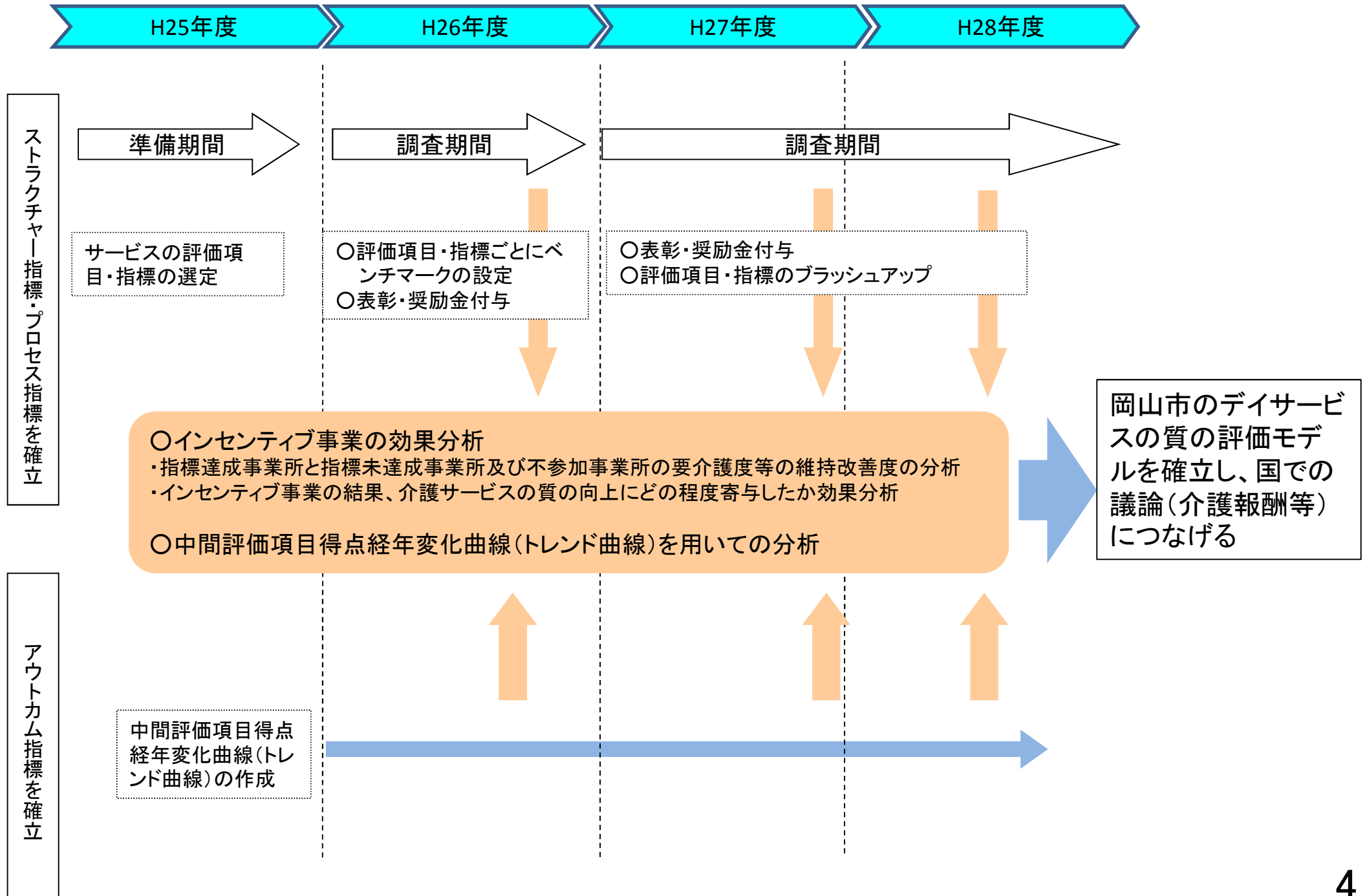
資格助成

地域交流
家族の交流

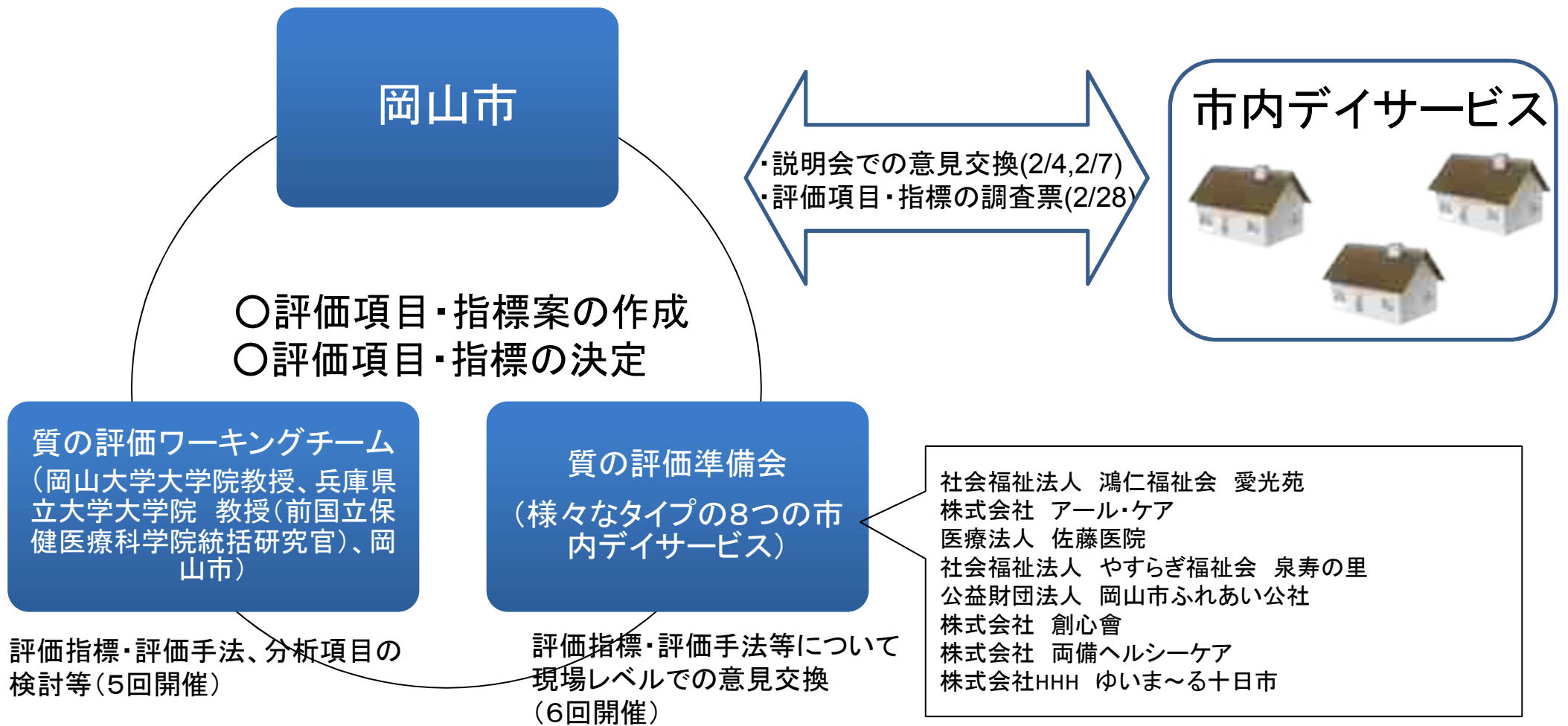
アウトカム
(成果)

状態像
改善

デイサービス改善インセンティブ事業の工程表(予定)



①ー1 サービスの評価項目の選定プロセス



岡山市と市内全デイサービス事業所が共同で質を評価する
項目(価値)・指標を選定

①ー2 介護サービスの評価項目・指標一覧

	評価項目	評価指標
1	専門的ケア習得に向けた研修参加への支援	外部研修への参加状況(延べ人数/職員数(常勤換算人数))
2	専門的ケア習得に向けた研修参加への支援	岡山市主催の研修会の参加回数
3	専門的な認知症ケアの提供	認知症高齢者の受け入れ人数(実人数/利用定員)
4	機能訓練指導員の体制	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数(常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))
5	介護職員の体制	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数(常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))

【補足】介護サービスの評価項目・指標の留意点

- 今回選定した評価項目・指標は、2月の意見交換、調査票の結果等を総合的に考慮し、選定したものです。
- 平成26年度事業については、今回選定した評価項目・指標で実施いたしますが、来年度以降も評価項目・指標を更新して事業を実施する予定です。
- そのため、今回評価項目・指標にならなかった項目についても「評価検討項目・指標」として、調査していく予定としています。
- 評価検討項目・指標の中で、評価項目・指標になり得ると判断すれば、来年度以降の事業の評価項目・指標に加えていきますので予めお知らせいたします。
(上記とは別に、調査して、評価項目・指標に適していないと判断した場合は、評価項目・指標から削除することも想定しております。)

①—3介護サービスの評価検討項目・指標一覧
(来年度以降に指標として検討している項目)

資料2参照

② 評価指標のデータの収集

○事業実施前データの収集(平成26年6月)

- ・①で選定した評価指標について、データを収集する。(調査票は別添のとおり)
- ・回答内容は平成25年1月～12月のデータ。
- ・回答締切予定:6月30日(月)

○事業実施後データの収集(平成26年12月)

- ・第3回デイサービス改善インセンティブ事業説明会開催
- ・①で選定した評価指標について、データを収集する。(原則6月の調査票と同じ)
- ・回答内容は平成26年1月～12月のデータ。
- ・回答締切予定:平成27年1月30日(金)

③ 評価プロセス

参加表明

6月・12月の調査項目・指標の調査の返信で判断する
返信あり＝参加事業所

指標による評価

12月の調査項目・指標の調査結果から、
5つの評価指標のベンチマークの達成の可否状況で評価する
3つ以上の指標のベンチマークを達成 ＝ 指標達成事業所

アウトカム評価

指標達成事業所のうち、6月、12月時点の
要介護度や中間評価項目得点、非該当になった人数等で評価する。

検 討 中

アウトカム評価上位事業所
表彰＋〇万円

③ー1 指標による評価

- ・参加事業所ごとに①の評価指標のベンチマークの達成の可否を確認
- ・5つの評価指標のうち、3つ以上を達成している事業所(指標評価達成事業所)を抽出

	評価指標	ベンチマーク	A事業所	B事業所	C事業所	D事業所	E事業所	...
1	外部研修への参加状況(延べ人数／職員数(常勤換算人数))	8割ライン以上 (0は除く)	○	○	○	×	×	
2	岡山市主催の研修会の参加回数	3回ともに1人以上 出席	○	○	○	×	○	
3	認知症高齢者の受け入れ人数(実 人数／利用定員)	8割ライン以上 (0は除く)	○	○	×	○	×	
4	機能訓練指導員が有している国家 資格者の常勤換算人数(常勤換算人 数／職員数(常勤換算人数))	8割ライン以上 (0は除く)	○	×	○	×	×	
5	介護職員のうち、介護福祉士の常勤 換算人数(常勤換算人数／職員数(常 勤換算人数))	8割ライン以上 (0は除く)	○	○	×	○	×	
指標評価達成事業所			●	●	●	×	×	

③ー2 情報公開

市のHPや広報誌等で市民などに情報公開を行う。イメージは下記のとおり

岡山市が平成26年7月から12月に実施した総合特区デイサービス改善インセンティブ事業に参加した事業所は下記の通りです。

福市区	事業所名	福市区	事業所名	福市区	事業所名
北区北	A事業所	東区	B事業所	中区	C事業所

総合特区デイサービス改善インセンティブ事業において、積極的に利用者の状態像の維持・改善に努めている事業所は下記の通りでした。

福市区	事業所コード	事業所名	理念	H27年度の目標	利用者の状態像の改善度が高い事業所
		A事業所			
		B事業所			



… アウトカム評価の結果、利用者の状態像の改善が高かった事業所

③ー2 情報公開

事業所ごとの個票イメージ

事業所名		
理念		
H27目標		
事業所のPR (独自サービス、職員体制等)		
評価指標の達成状況		
評価指標	ベンチマーク	達成状況
(1)外部研修への参加状況(実人数/職員数(常勤換算人数))	8割ライン以上(0は除く)	○
(2)岡山市主催の研修会の参加回数	3回ともに1人以上出席	○
(3)認知症高齢者の受け入れ人数(実人数/利用定員)	8割ライン以上(0は除く)	○
(4)機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数(実人数/職員数(常勤換算人数))	8割ライン以上(0は除く)	○
(5)介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数(実人数/職員数(常勤換算人数))	8割ライン以上(0は除く)	×
アウトカム指標		
指標	人数	
状態像の改善人数/利用定員	○○人/利用定員	

④ 介護職員スキルアップ研修の開催

現在、利用者や家族のニーズの多様化により、様々な価値を有するタイプのデイサービスが生まれ、職員に求められるスキルはこれまで以上に多岐に渡っています。そこで岡山市ではデイサービス事業所の職員向けの研修会を開催します。(7月～11月の間で3回程度)、デイサービスには様々な価値がありますが、今年度は「認知症」、「機能訓練」、「地域包括ケア」にフォーカスを当てた研修会を開催いたします。

○第1回介護職員スキルアップ研修会

日時:平成26年7月18日 13:30～15:00

場所:岡山プラザホテル

内容:認知症関連 (東京都健康長寿医療センター 栗田主一氏講演)

○第2回介護職員スキルアップ研修会

日時:平成26年9月ごろ

内容:高齢者の機能訓練

詳細未定

○第3回介護職員スキルアップ研修会

日時:平成26年11月ごろ

内容:地域包括ケア

詳細未定

※なお、当該研修会への参加は必須ではありませんが、デイサービス改善インセンティブ事業の評価の対象となっています。案内通知等は別途いたします。

事業スケジュール

平成26年6月4日(水)	第2回デイサービス改善インセンティブ事業説明会 調査票配布
6月30日(月)	調査票締切
7月～11月	介護職員スキルアップ研修
12月	第3回デイサービス改善インセンティブ事業説明会 調査票配布
平成27年1月末	調査票締切
3月	上位にインセンティブ(奨励金)を付与

※アウトカム評価の検討の進捗状況に応じて、随時、事業説明会を開催する予定です。

デイサービス改善インセンティブ事業 評価項目・指標一覧

資料2

大項目	番号	評価項目	評価指標	実施率 (回答が「0」、 「無」以外)	有効性調査 (2月のアンケートの 有効性調査で「有効 である」「やや有効 である」と回答した割合)	妥当性 ● 評価項目 ▲ 評価検討項目 △ 評価非対象	指標としての妥当性、除外する理由等
従事者支援	1	資格取得に向けた支援、継続的な能力開発の実施	各事業所における資格取得に係る負担金のうち1件当たりの最大額	32.3%	76.2%	▲	負担金の最大額が質の向上に結びつか不明であり、指標としては、負担件数の方が過しているとも考えられるため、引き続き指標として検討する。
	2	専門的ケア習得に向けた外部研修参加への支援	外部研修への参加状況	64.9%	92.0%	●	研修による職員のスキルアップは、質の向上へ直接結びつくため、評価指標とする。
	3		内部研修への参加状況	69.2%	88.7%	▲	客観性に疑義があるため定義を明確にし、引き続き指標として検討する。
	4		岡山市主催の研修会の参加	未調査	90.0%	●	研修による職員のスキルアップは、質の向上へ直接結びつくため、評価指標とする。
	5	職員満足度の確保	職員への満足度調査	8.3%	79.5%	△	満足度調査は質の向上に向けて重要な項目だが、主観的要素が強いため指標とはしない。
	6		職員の疲労蓄積度自己診断チェックリストの実施	未調査	67.6%	△	未調査であること、また認知度に疑義があるので、評価対象とはしない。
	7	職員の年次有給休暇取得状況	84.1%	76.4%	▲	定義を明確にし、引き続き指標として検討する。	
	8	職員が安心して働ける環境の整備	離職状況	83.6%	77.7%	▲	定義を明確にし、引き続き指標として検討する。
	9		(新)新規採用者数(新卒、中途)	新規	▲	質の評価WTからの意見により追加。追加項目のため、翌年度事業への検討項目とする。	
介護技術	10	状態像の維持改善	要介護度	未調査	81.9%	-	指標評価達成事業所を対象にアウトカム評価の指標として検討している。(データは市で抽出)
	11		(新)介護保険サービスからの卒業者の人数	新規	▲	質の評価WTからの意見により追加。追加項目のため、翌年度事業への検討項目とする。状態像の維持・改善を図り、将来的には介護保険サービスからの卒業を目指す。	
	12	加算対象サービス以外の提供	独自のサービスの内容	-	90.0%	-	指標達成事業所が独自に取り組んでいるサービスを情報公開する
	13	口腔ケアの提供	(新)集団指導の実施	新規	▲	▲	口腔ケアの適切な提供は利用者の改善、維持のために必要な措置だと考える。追加項目のため、引き続き指標として検討する。
	14	専門的な認知症ケアの提供	認知症介護実践研修(実践者研修及びリーダー研修)の参加人数	25.0%	82.5%	▲	リーダー研修だけでは、実施率が低かったため、実践者研修も含めた指標とし、引き続き指標として検討する。
	15		認知症高齢者の受け入れ人数	未調査	77.5%	●	認知症施策に関する指標は市として必要なため評価指標とする。ただし、受け入れていることだけを評価するのではなく、積極的に介護技術のスキルアップに努めている事業所を評価するため、7月18日にある岡山市主催の介護職員スキルアップ研修のうち、認知症をテーマにした研修会への参加を条件とする。なお、データは市で抽出する
	16		(新)認知症総合アセスメント(DASC)の研修への参加人数	新規	▲	▲	質の評価WTからの意見により追加。追加項目のため、翌年度事業への検討項目とする。将来的には認知症を早期発見して、正しい早期診断・早期治療へとつなげていくことを目指す。
	17		キャリア段位(アセッサー)研修会への参加人数	未調査	79.9%	▲	H26年度分の研修応募期間は5/12~5/27のため、今年度は指標としませんが、来年度以降は指標とする予定である。
	18	キャリア段位制度への参加	(新)キャリア段位(アセッサー)研修の合格者数	未調査	▲	▲	H26年度分の研修応募期間は5/12~5/27のため、引き続き指標として検討する。
	19		内部評価実施人数(キャリア段位における段位認定者数)	未調査	70.1%	▲	現在アセッサーが少ないため、引き続き指標として検討する。
20	利用満足度調査の実施等による利用者の意見の収集	利用者への満足度調査	31.8%	90.0%	△	満足度調査は質の向上に向けて重要な項目だが、主観的要素が強いため指標とはしない。	
事業者の意識の向上	21	機能訓練指導員の体制	機能訓練指導員が有している国家資格取得者の常勤換算人数	94.2%	78.6%	●	国家資格取得者による機能訓練が利用者の状態像に与える影響を重視し、評価指標とする。
	22	生活相談員の体制	生活相談員のうち、社会福祉士の常勤換算人数	32.1%	78.4%	▲	まずは介護職員の体制を評価することとし、引き続き指標として検討する。
	23	介護職員の体制	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	76.3%	80.4%	●	介護福祉士が利用者の状態像に与える影響を重視し、評価指標とする
	24	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師又は准看護師、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師、社会福祉士、介護福祉以外の資格者の配置人数	資格数	-	70.1%	-	指標達成事業所が独自に取り組んでいるサービスを情報公開する
	25	実習生の受け入れ	受け入れ実績	12.9%	64.6%	▲	定義を明確にし、引き続き指標として検討する。
	26	利用者がくつろげる環境の整備、事業所全体の雰囲気の高揚性への配慮	食堂及び機能訓練室の面積	99.1%	72.6%	△	食堂及び機能訓練室の面積が質の向上に結びつか不明であるため、評価対象としない
	27		環境評価アセスメント調査の実施	未調査	78.7%	△	未調査であること、また認知度に疑義があるので、評価対象とはしない。
	28	状態像の維持改善の維持改善を図るための機器等の充実	機能訓練用の機器及びレクリエーション用の機器の種類	-	73.0%	-	指標達成事業所が独自に取り組んでいるサービスを情報公開する
	29	広報誌の定期的な発行	広報誌の発行状況	61.0%	69.0%	△	定義が不明確な上、質の向上に結びつか不明であるため、評価対象としない
	30	事業所情報開示に向けた取組	介護情報公表システムの更新状況	100.0%	67.6%	△	定義が不明確な上、質の向上に結びつか不明であるため、評価対象としない
	31	(新)事業所の理念及び目標設定	(新)事業所の理念及び目標の職員共有化	新規	-	▲	質の評価WTからの意見により追加。追加項目のため、引き続き指標として検討する。
地域住民の意識の向上	32	地域住民、家族等との連携	家族を対象とした家族介護者教室の開催回数	11.4%	67.0%	▲	在宅生活のQOL向上のため必要。定義を明確にし、引き続き指標として検討する。
	33		ボランティア等の受け入れ人数	34.5%	75.6%	△	ボランティアの受け入れ人数が質の向上に結びつか不明であり、評価対象としない。
	34		地域住民を受け入れている施設内行事の実施回数	47.2%	75.0%	△	施設内行事の回数がの向上に結びつか不明であり、評価対象としない
	35		(新)高齢者の社会参加活動へ講師として参加した回数及び場所の提供回数	新規	▲	▲	非該当になった利用者の受け皿対策として、引き続き指標として検討する。
	36	利用者家族懇談会の開催	14.9%	78.8%	△	実施率が低く、定義が不明確なため、評価対象とはしない。	
	37	利用者家族とのコミュニケーションの状況	家族への満足度調査	14.9%	92.3%	△	満足度調査は質の向上に向けて重要な項目だが、主観的要素が強いため指標とはしない。
	38		家族への負担感調査	未調査	81.6%	△	未調査であること、また認知度に疑義があるので、評価対象とはしない。

平成25年度に行ったアンケート調査結果

資料3

【評価項目】(1)資格取得に向けた支援

【評価指標】①各事業所における資格取得に係る負担金のうち
1件当たりの最大額

有効性調査による有効度 76.2%

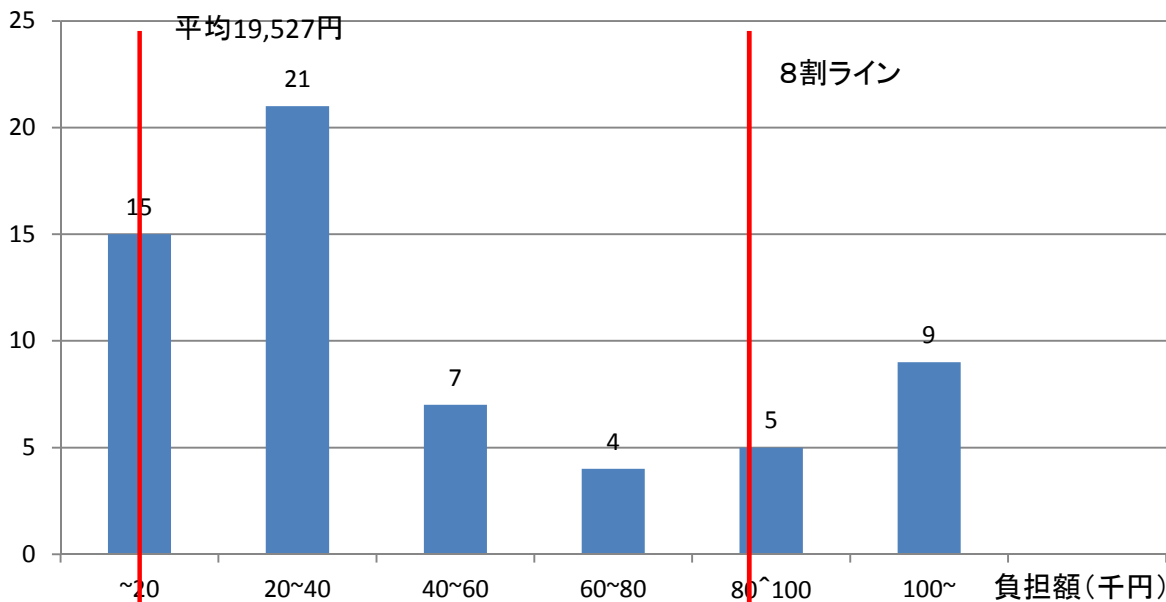
負担金の有無	事業者数	割合(%)	累積割合(%)
あり	72	32.3%	32.3%
なし	144	64.6%	96.9%
不明	7	3.1%	100.0%

負担額(千円)	頻度	割合(%)	累積割合(%)
不明	11	除外	除外
~20	15	24.6%	24.6%
20~40	21	34.4%	59.0%
40~60	7	11.5%	70.5%
60~80	4	6.6%	77.0%
80~100	5	8.2%	85.2%
100~	9	14.8%	100.0%

*負担金あると回答した事業所(n=72:ave64,664円)

事業所数(1)各事業所における資格取得に係る負担金のうち1件当たりの最大額
(箇所)

負担金平均	19527円(n=216)
最小値	0円
最大値	600,000円

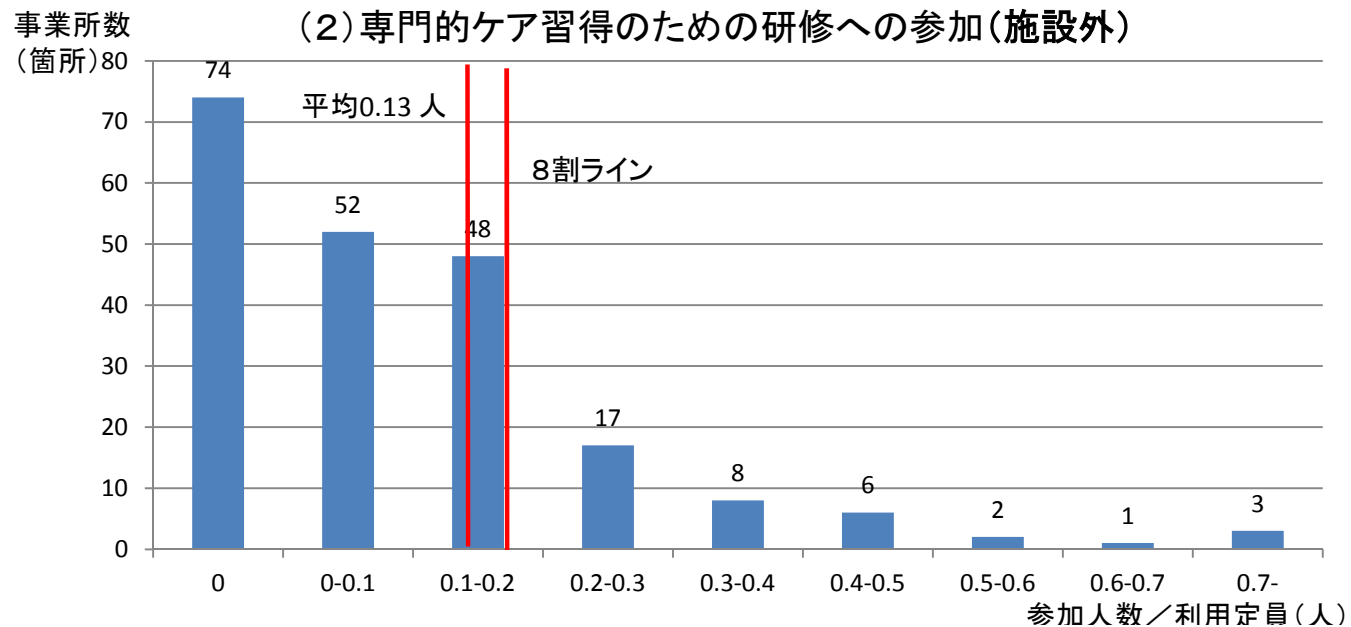


【評価項目】(2)専門的ケア習得のための研修への参加

【評価指標】①施設外での研修への参加状況(実人数/利用定員)
有効性調査による有効度 92.0%

全数(実人数/利用定員)	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損	12	除外	除外
0	74	35.1%	35.1%
0-0.1	52	24.6%	59.7%
0.1-0.2	48	22.7%	82.5%
0.2-0.3	17	8.1%	90.5%
0.3-0.4	8	3.8%	94.3%
0.4-0.5	6	2.8%	97.2%
0.5-0.6	2	0.9%	98.1%
0.6-0.7	1	0.5%	98.6%
0.7-	3	1.4%	100.0%

平均値	0.13	n=211
最小値	0	
最大値	1.58	

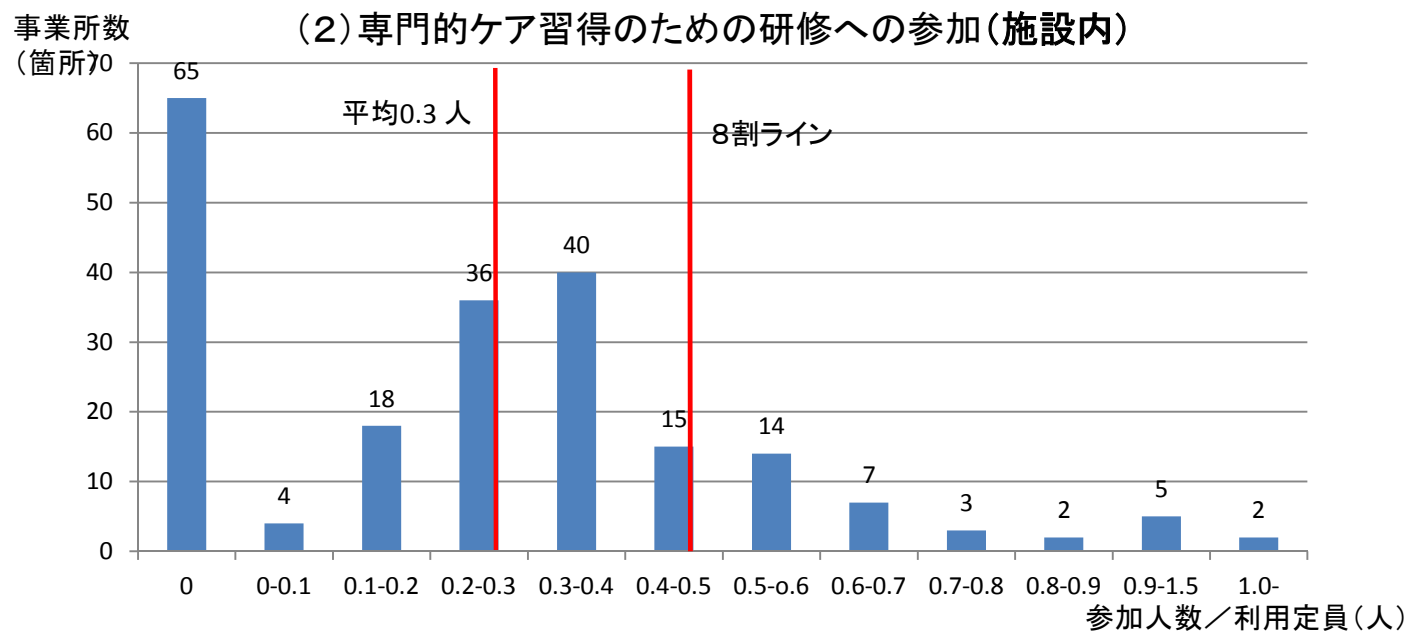


【評価項目】(2)専門的ケア習得のための研修への参加

【評価指標】①施設内での研修への参加状況(実人数/利用定員)
有効性調査による有効度 88.7%

全数(実人数/利用定員)	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損	12	除外	除外
0	65	30.8%	30.8%
0-0.1	4	1.9%	32.7%
0.1-0.2	18	8.5%	41.2%
0.2-0.3	36	17.1%	58.3%
0.3-0.4	40	19.0%	77.3%
0.4-0.5	15	7.1%	84.4%
0.5-0.6	14	6.6%	91.0%
0.6-0.7	7	3.3%	94.3%
0.7-0.8	3	1.4%	95.7%
0.8-0.9	2	0.9%	96.7%
0.9-1.5	5	2.4%	99.1%
1.0-	2	0.9%	100.0%

平均値	0.30 _{n=211}
最小値	0
最大値	4.0



【評価項目】(3)職員満足度の確保

【評価指標】①職員への満足度調査 有効性調査による有効度 79.5%

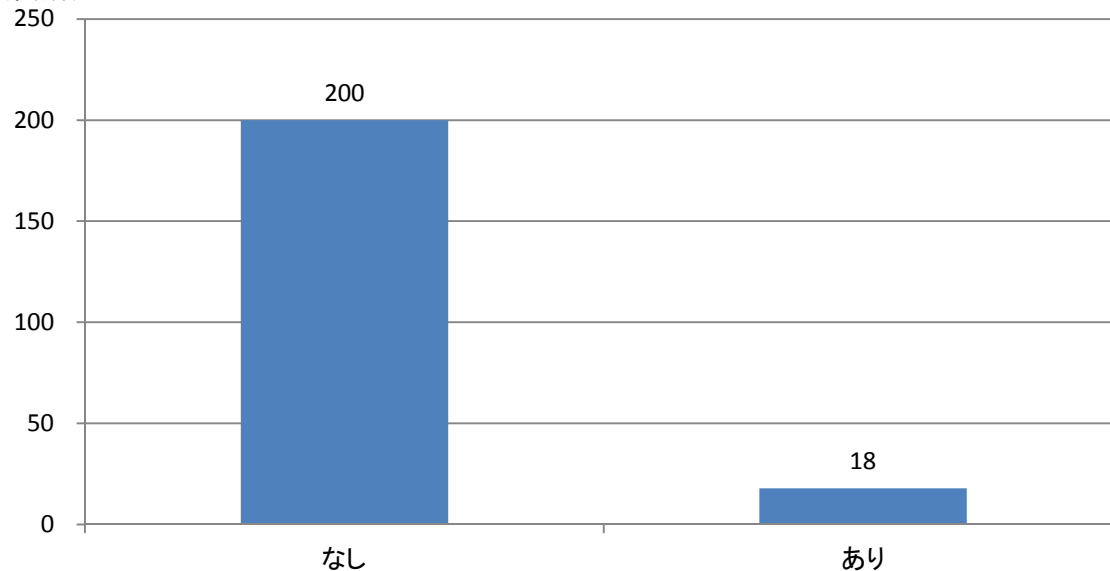
実施の有無	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損	5	除外	除外
なし	200	91.7%	91.7%
あり	18	8.3%	100.0%

結果の公表方法	頻度	割合(%)	累積割合(%)
施設内に掲示	1	5.6	5.6
文書で配布	3	16.7	22.2
公表なし	9	50.0	72.2
その他	4	22.2	94.4
欠損	1	5.6	100.0

*実施あると回答した事業所(n=18)

事業所数
(箇所)

(2)職員満足度



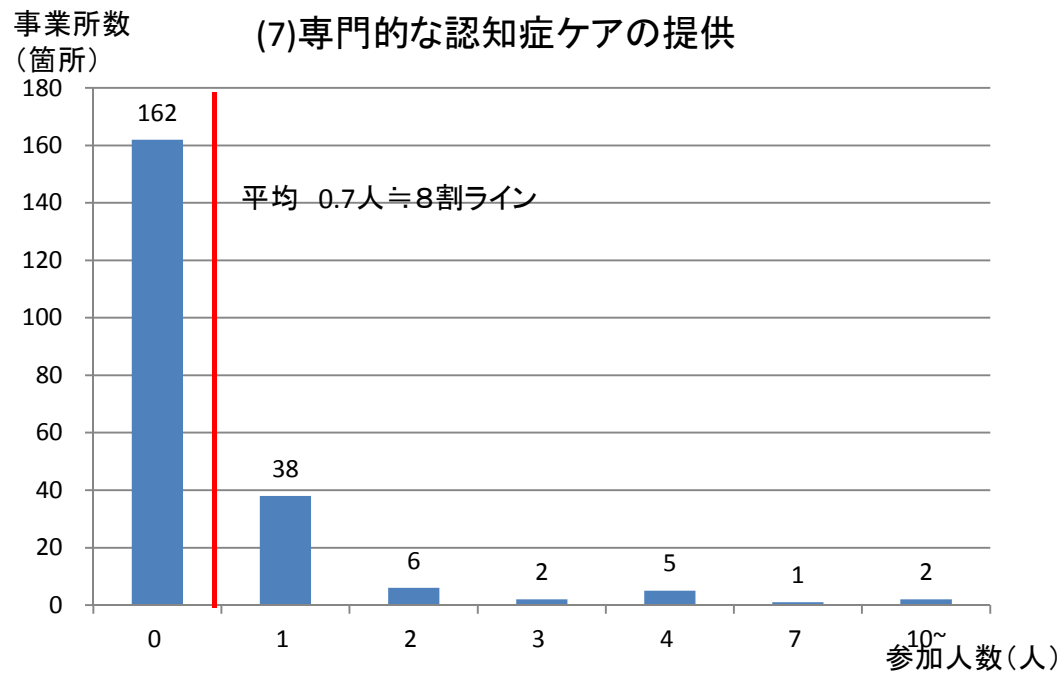
【評価項目】(7) 専門的な認知症ケアの提供

【評価指標】① 認知症介護実践研修への参加人数
有効性調査による有効度 82.5%

認知症実践研修への参加人数(人)	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損	7除外		除外
0	162	75.0%	75.0%
1	38	17.6%	92.6%
2	6	2.8%	95.4%
3	2	0.9%	96.3%
4	5	2.3%	98.6%
7	1	0.5%	99.1%
10~	2	0.9%	100.0%

実人数平均	0.7人	*n=216
最小値	0人	
最大値	54人	

*参加1以上の平均値2.7人(n=56)



【評価項目】(10)利用満足度調査の実施等による利用者の意見の収集

【評価指標】①利用者への満足度調査

有効性調査による有効度 90.0%

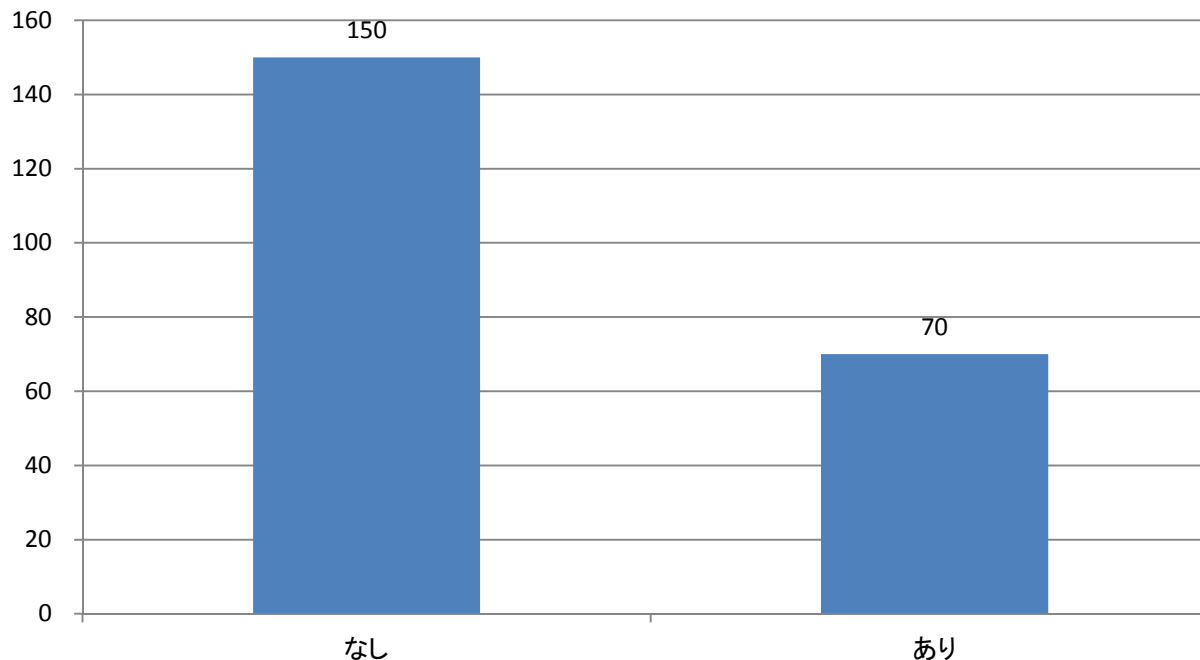
実施の有無	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損	3	除外	除外
なし	150	68.2%	68.2%
あり	70	31.8%	100.0%

結果の公表	頻度	割合(%)	累積割合(%)
施設内に掲示	12	17.1	17.1
文書で配布	16	22.9	40.0
公表なし	32	45.7	85.7
その他	7	10.0	95.7
欠損	3	4.3	100.0

*実施あると回答した事業所(n=70)

事業所数
(箇所)

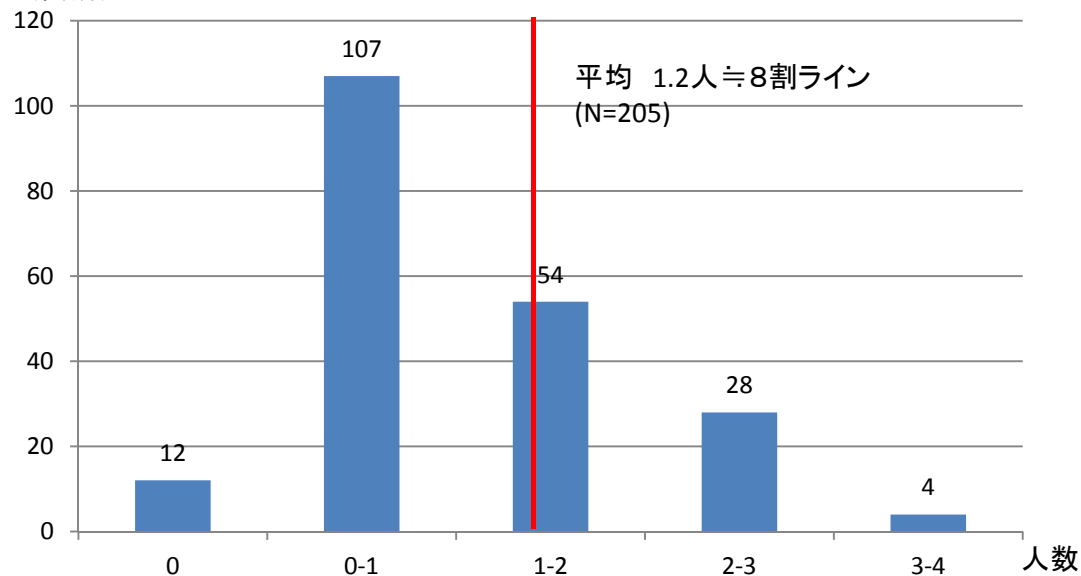
(10)利用満足度調査



【評価項目】(11)職員のうち、個別機能訓練加算の対象となる国家資格取得者の配置人数
【評価指標】 ① OT,PT,ST,NS,あんま、柔道整復師 6種の配置人数(常勤換算)
有効性調査による有効度 78.6%

6種合計人数 (常勤換算)	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損	18	除外	除外
0	12	5.8%	5.8%
0-1	107	51.7%	57.5%
1-2	54	26.1%	83.6%
2-3	28	13.5%	97.1%
3-4	4	1.9%	99.0%

事業所数 (箇所) (11)職員のうち、個別機能訓練加算の対象となる国家資格取得者の配置人数
 ①OT,PT,ST,NS,あんま、柔道6種合計常勤換算人数



【評価項目】(12)生活相談員の体制

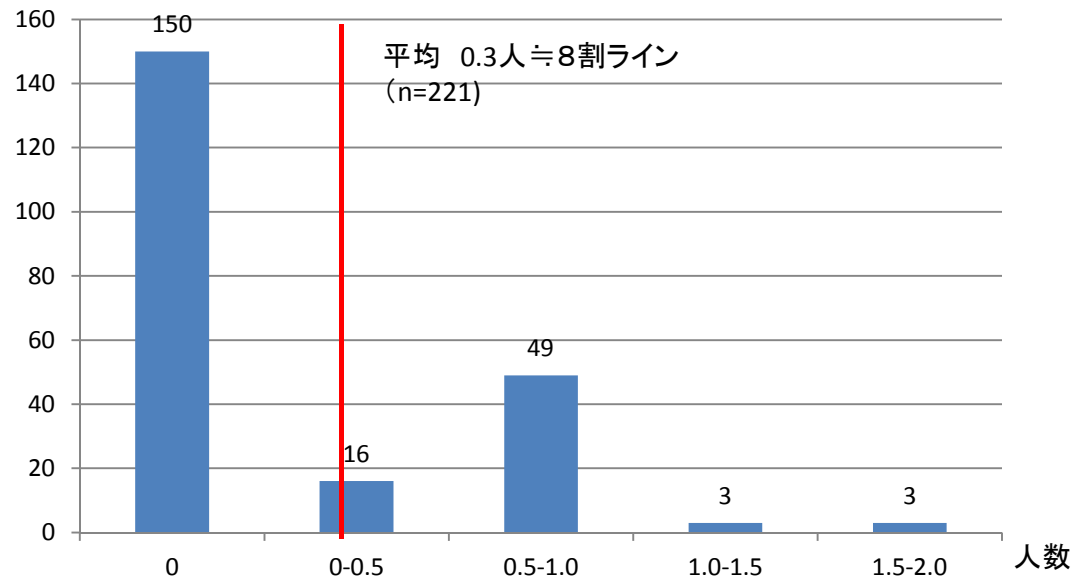
【評価指標】社会福祉士の常勤換算人数

有効性調査による有効度 78.4%

社会福祉士の常勤換算人数	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損		2除外	除外
0	150	67.9%	67.9%
0-0.5	16	7.2%	75.1%
0.5-1.0	49	22.2%	97.3%
1.0-1.5	3	1.4%	98.6%
1.5-2.0	3	1.4%	100.0%

※0< 平均値 0.9人(n=71)

事業所数 (12)生活相談員の体制(社会福祉士の常勤換算人数)
(箇所)



【評価項目】(13)介護職員の体制(

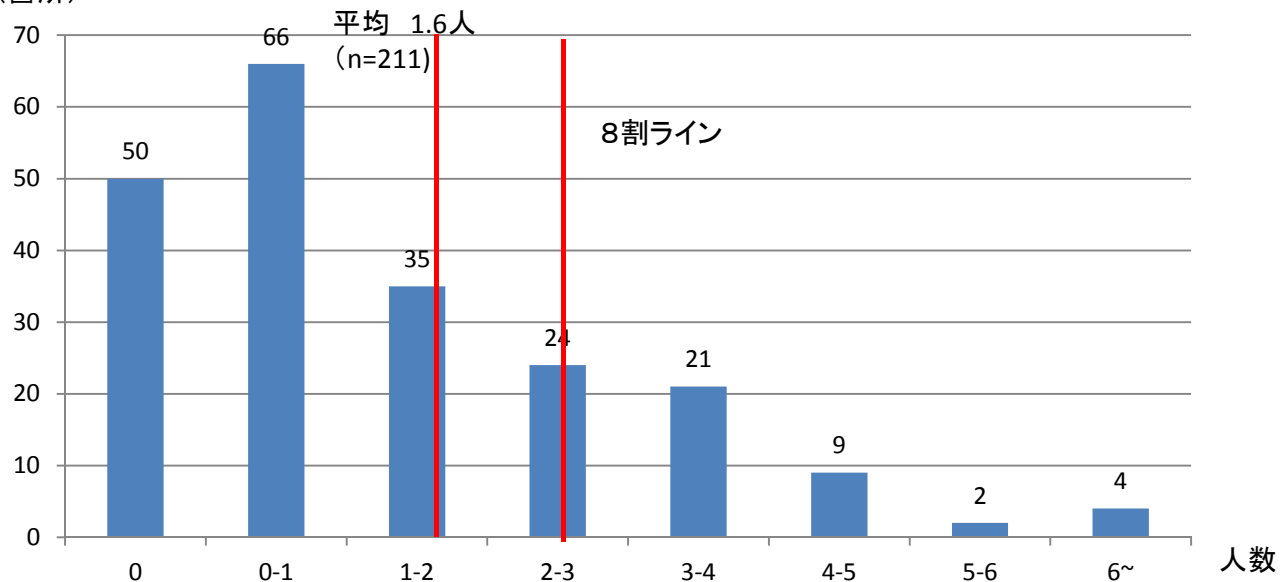
【評価指標】介護福祉士の割合(常勤換算人数)

有効性調査による有効度 80.4%

社会福祉士の割合 (常勤換算人数)	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損	12	除外	除外
0	50	23.7%	23.7%
0-1	66	31.3%	55.0%
1-2	35	16.6%	71.6%
2-3	24	11.4%	82.9%
3-4	21	10.0%	92.9%
4-5	9	4.3%	97.2%
5-6	2	0.9%	98.1%
6~	4	1.9%	100.0%

※0< 平均値 2.2人(n=161)

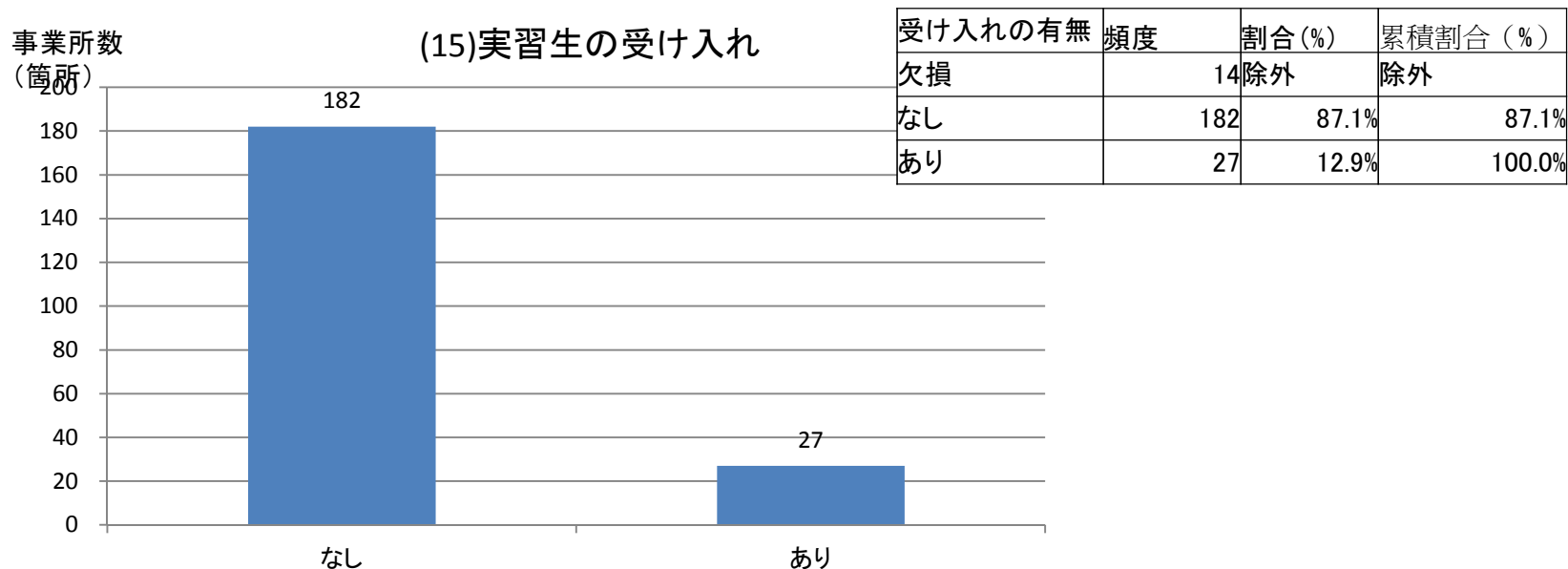
事業所数
(箇所) (13)介護職員の体制(介護福祉士の常勤換算人数)



【評価項目】(15)実習生の受け入れ

【評価指標】①受け入れ実績(日数、人数)

有効性調査による有効度 64.6%



受け入れ日数

受け入れ日数	頻度	割合(%)	累積割合(%)
0-10	13	48.1%	48.1%
10-20	5	18.5%	66.7%
20-30	2	7.4%	74.1%
30-40	3	11.1%	85.2%
40~	4	14.8%	100.0%

最小値	0
最大値	65
平均値	21

n=27

※平均 1.0(n=209)

受け入れ人数

受け入れ人数	頻度	割合(%)	累積割合(%)
0-5	14	51.9%	51.9%
5-10	4	14.8%	66.7%
10-15	4	14.8%	81.5%
15-20	1	3.7%	85.2%
20~	4	14.8%	100.0%

最小値	0
最大値	105
平均値	14

n=27

※平均 2.0(n=209)

【評価項目(16)利用者がくつろげる環境の整備、事業所全体の雰囲気の快適性への配慮

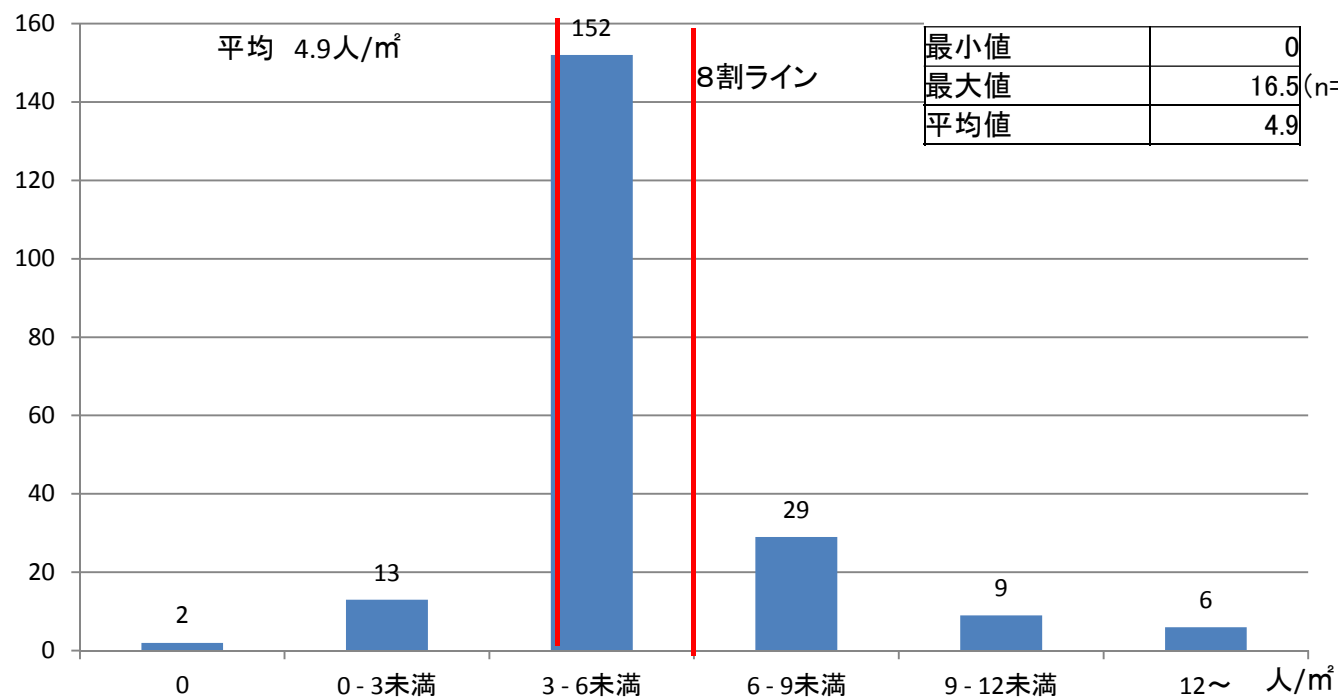
【評価指標】食堂及び機能訓練室の面積(面積／利用定員)

有効性調査による有効度 72.6%

食堂及び機能訓練室の面積(面積／利用定員)	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損	12	除外	除外
0	2	0.9%	0.9%
0 - 3未満	13	6.2%	7.1%
3 - 6未満	152	72.0%	79.1%
6 - 9未満	29	13.7%	92.9%
9 - 12未満	9	4.3%	97.2%
12～	6	2.8%	100.0%

事業所数
(箇所)

(16)利用者がくつろげる環境の整備、
事業所全体の雰囲気の快適性への配慮



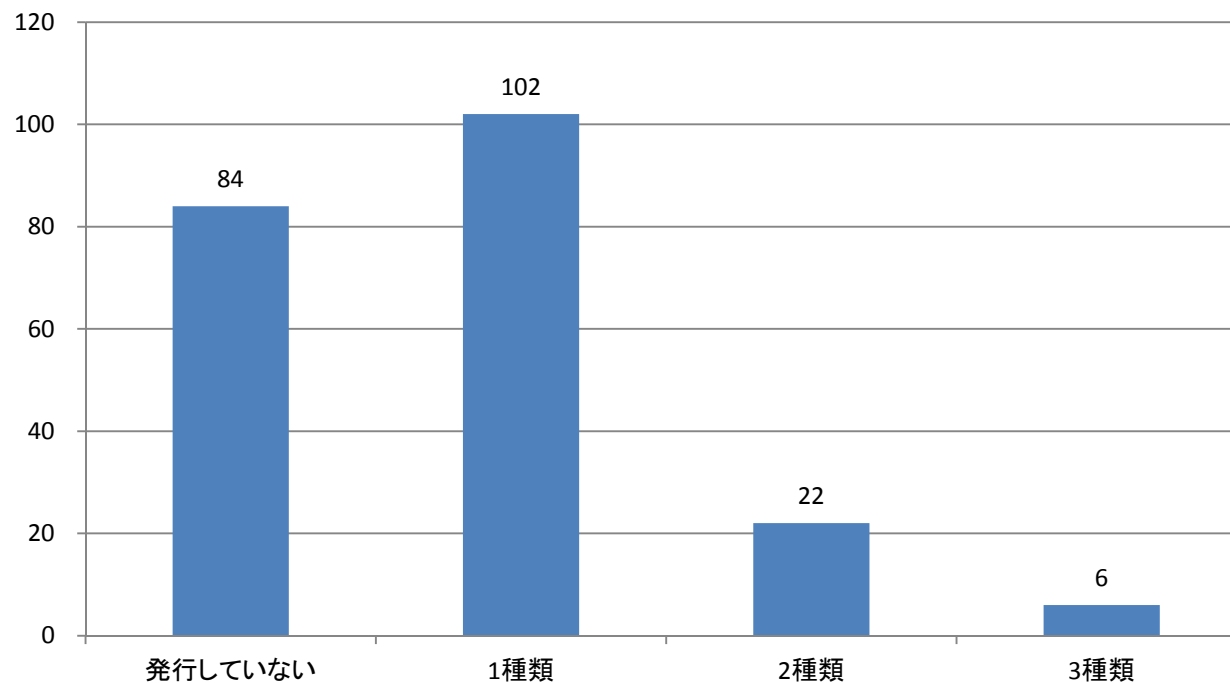
【評価項目】(18)広報誌の定期的な発行

【評価指標】①広報誌の種類

有効性調査による有効度 69.0%

広報誌の種類	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損		9除外	除外
発行していない	84	39%	39%
1種類	102	48%	87%
2種類	22	10%	97%
3種類	6	3%	100%

事業所数
(箇所) (18)広報誌の種類

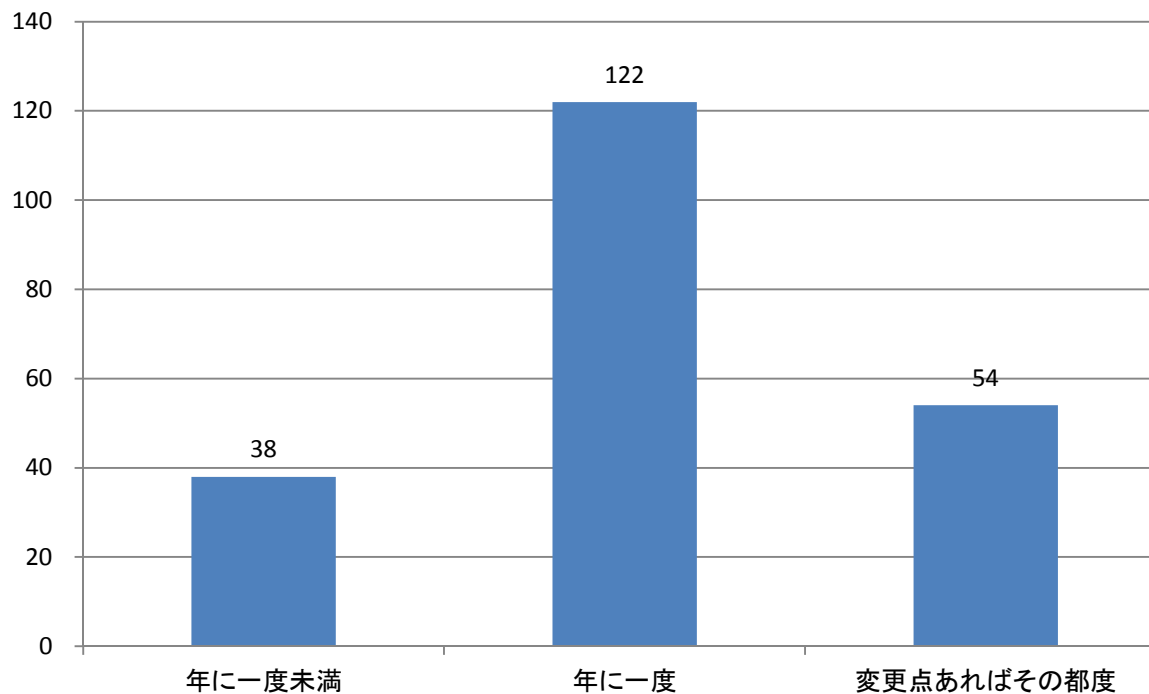


【評価項目】(19)事業所情報開示に向けた取組

【評価指標】岡山県介護事業所検索の更新状況 有効性調査による有効度 67.6%

岡山県介護事業所検索の更新状況	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損		9除外	除外
年に一度未満	38	17%	17%
年に一度	122	54%	71%
変更点あればその都度	54	24%	96%

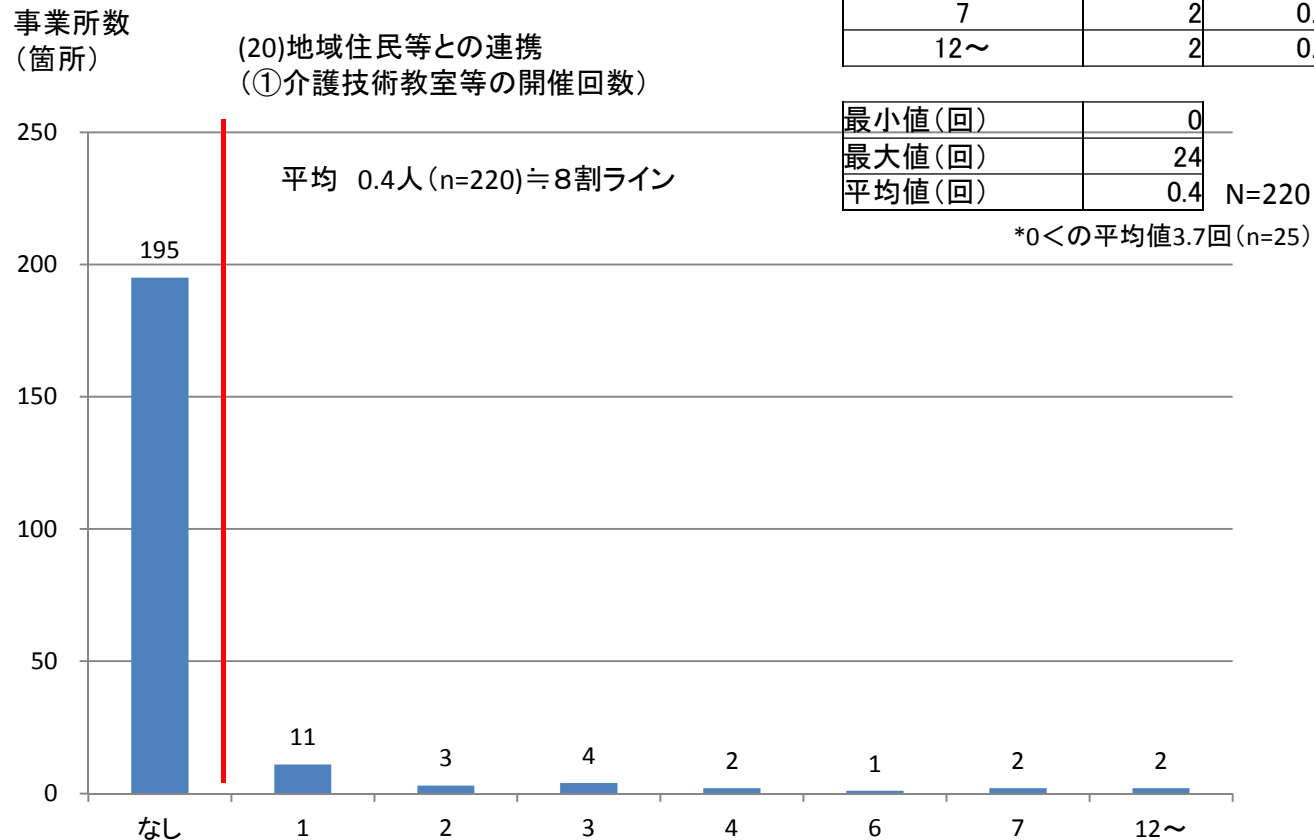
事業所数 (箇所) (19)事業所情報開示に向けた取組(更新頻度)



【評価項目】(20)地域住民等との連携

【評価指標】①地域住民を対象とした介護技術教室等の開催回数
有効性調査による有効度 67.0%

回数(回)	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損		3除外	除外
なし	195	88.6%	88.6%
1	11	5.0%	93.6%
2	3	1.4%	95.0%
3	4	1.8%	96.8%
4	2	0.9%	97.7%
6	1	0.5%	98.2%
7	2	0.9%	99.1%
12~	2	0.9%	100.0%



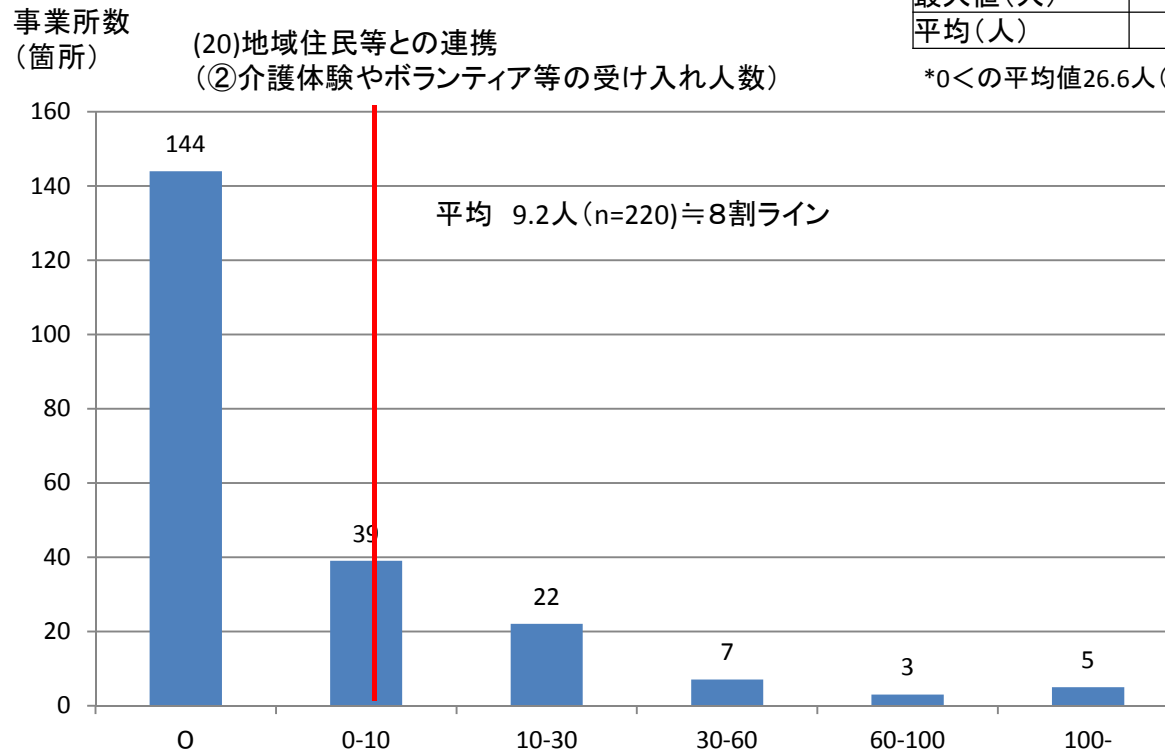
【評価項目】(20)地域住民等との連携

【評価指標】②地域住民の介護体験やボランティア等の受け入れ人数
有効性調査による有効度 75.6%

受け入れ人数	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損	3	除外	除外
0	144	65.5%	65.5%
0-10	39	17.7%	83.2%
10-30	22	10.0%	93.2%
30-60	7	3.2%	96.4%
60-100	3	1.4%	97.7%
100-	5	2.3%	100.0%

最小値(人)	0
最大値(人)	210
平均(人)	9.2N=220

*0<の平均値26.6人(n=76)



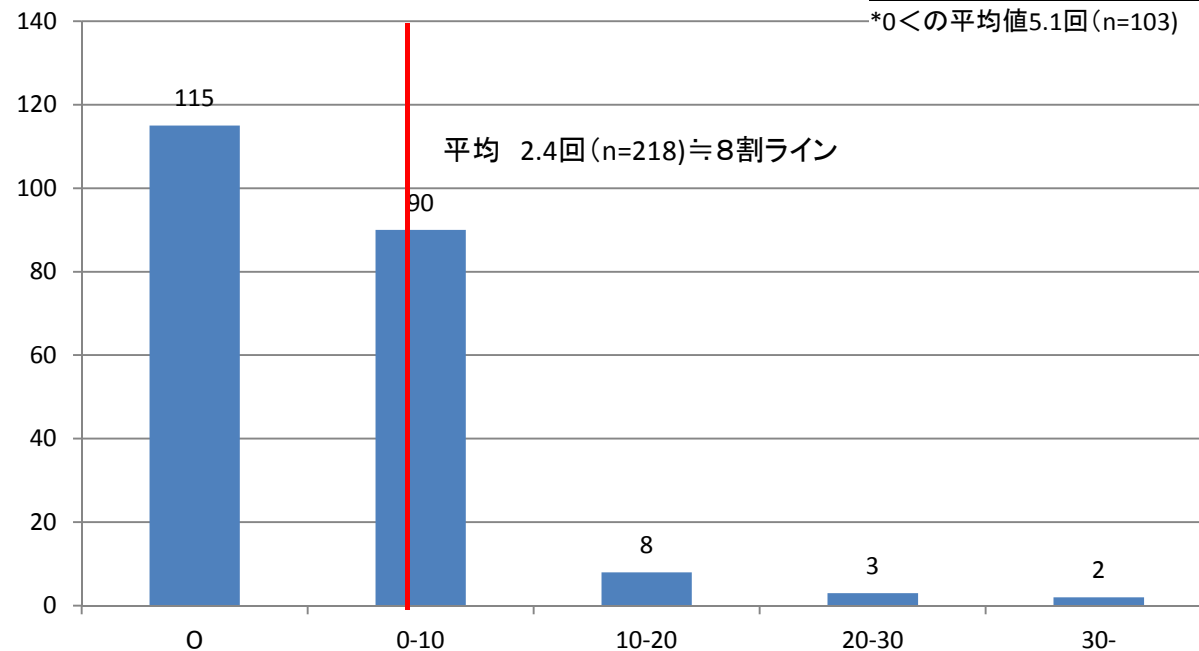
【評価項目】(20)地域住民等との連携

【評価指標】③地域住民を受け入れている施設内行事の実施回数
有効性調査による有効度 75.0%

回数	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損		5除外	除外
0	115	52.8%	52.8%
0-10	90	41.3%	94.0%
10-20	8	3.7%	97.7%
20-30	3	1.4%	99.1%
30-	2	0.9%	100.0%

最小値(回)	0
最大値(回)	60
平均(回)	2.4n=218

事業所数
(箇所) (20)地域住民等との連携(③施設内行事の実施回数)



【評価項目】(21)利用者家族とのコミュニケーションの状況

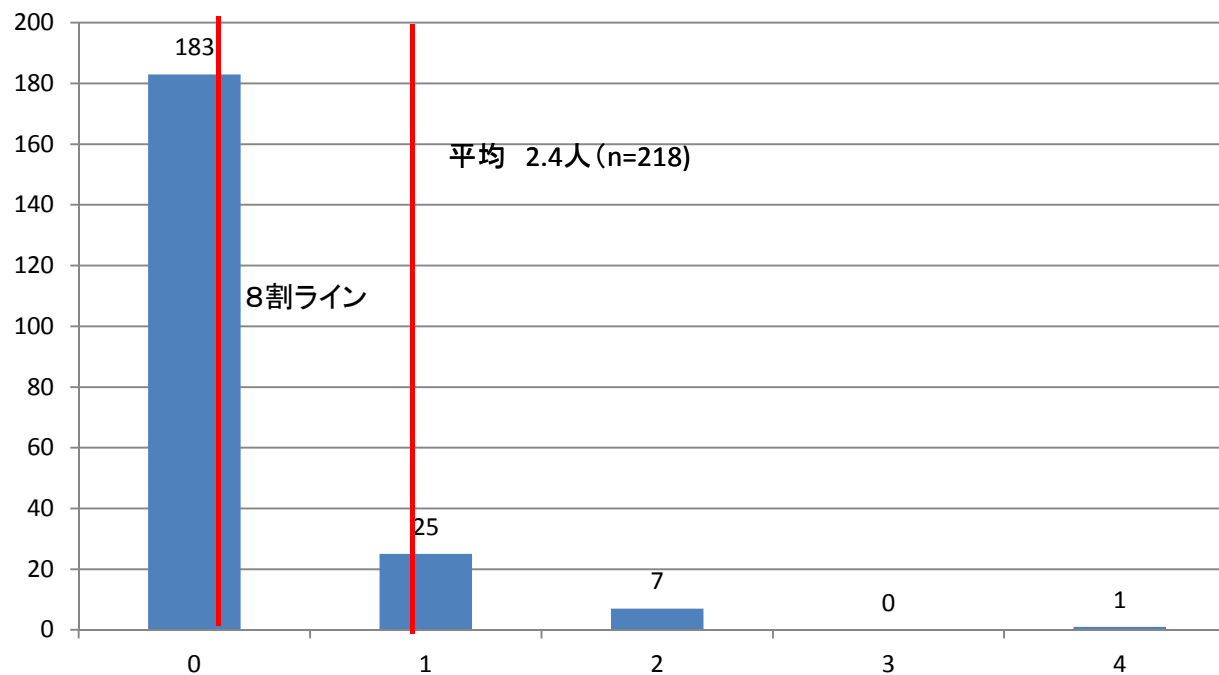
【評価指標】①利用者家族懇談会の開催

有効性調査による有効度 92.3%

回数(回)	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損	8除外		除外
0	183	85.1%	85.1%
1	25	11.6%	96.7%
2	7	3.3%	100.0%
3	0	0.0%	100.0%
4	1	0.5%	100.5%

事業所数
(箇所)

(21)利用者家族とのコミュニケーションの状況
(①利用者懇談会の開催回数)



【評価項目】(21)利用者家族とのコミュニケーションの状況

【評価指標】②家族への満足度調査

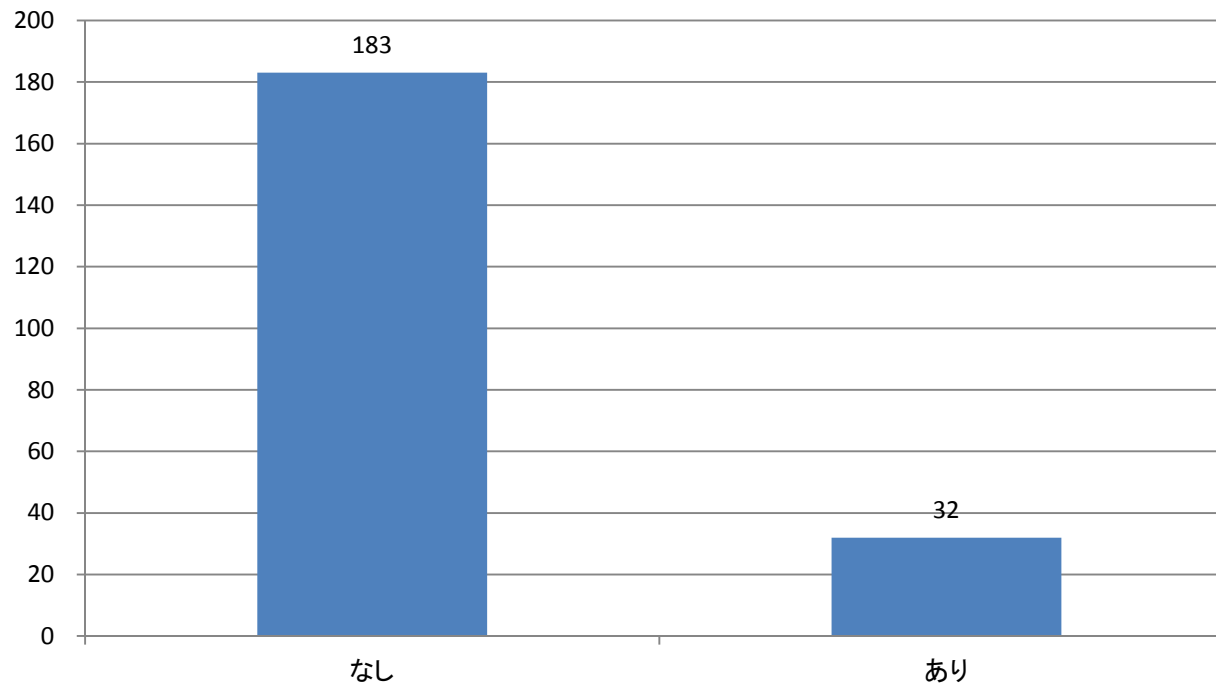
有効性調査による有効度 81.6%

実施の有無	頻度	割合(%)	累積割合(%)
欠損	8	除外	除外
なし	183	85.1%	85.1%
あり	32	14.9%	100.0%

公表の方法	頻度	割合(%)	累積割合(%)
施設内に掲示	3	9.4	9.4
文書で配布	13	40.6	50.0
公表なし	8	25.0	75.0
その他	4	12.5	87.5
欠損	4	12.5	100.0

事業所数
(箇所)

(21)利用者家族とのコミュニケーションの状況(②家族への満足度調査)



平成26年6月4日

市内通所介護事業所 各位

岡山市保健福祉局
医療政策推進課

総合特区デイサービス改善インセンティブ事業に係る調査票について(依頼)

平素より岡山市の総合特区事業にご協力頂き、誠にありがとうございます。

本年2月4日、7日に開催しました事業説明会の意見交換会での皆様のご意見や同年3月に市内通所介護事業所を対象に実施した調査の結果等を踏まえ、評価項目・指標を決定いたしました。

つきましては、6月4日に開催した第2回デイサービス改善インセンティブ事業説明会にてお知らせしたとおり当該事業における指標達成事業所を選定するために、評価指標の数値の調査を行います。

今回の数値と同年12月に実施する調査の回答と併せて評価し、インセンティブを付与する事業所を決定する予定です。ご多忙の時期とは思いますが、ご協力をお願いいたします。

また、ご不明な点等ございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

○提出物:

- ・通所介護サービスの質の評価に関する調査表
- ・平成25年12月分の従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表(事業所様式)
- ・平成25年研修計画(事業所様式)
- ・平成25年研修実績報告書(別添様式1)
- ・平成25年地域住民との連携実績報告書(別添様式2)

○回答方法:紙1部(同封の返信用封筒にて郵送)

○提出期限:平成26年6月30日(月)

【スケジュール(予定)】

平成26年6月4日(水)	第2回デイサービス改善インセンティブ事業説明会 調査票配布
6月30日(月)	調査票締切
7月~11月	介護職員スキルアップ研修
12月	第3回デイサービス改善インセンティブ事業説明会 調査票配布
平成27年1月末	調査票締切
3月	上位にインセンティブ(奨励金)を付与

※アウトカム評価の検討の進捗状況に応じて、随時、事業説明会を開催する予定です。

【提出先・問い合わせ先】

岡山市 医療政策推進課

医療福祉戦略室 黒瀬、守安

TEL 086-803-1638

FAX 086-803-1776

Mail masakazu_moriyasu@city.okayama.jp

なお、同封している資料は6月4日に開催した第2回デイサービス改善インセンティブ事業説明会配布した資料一式です。近日中に下記 HP にアップする予定です。



通所介護サービスの質の評価に関する調査

今回の調査はデイサービス改善インセンティブ事業における指標達成事業所を選定するための評価指標の数値を把握するものです。今回の数値と平成26年12月に実施する調査の回答と併せて評価しインセンティブを付与する事業所を決定します。

■記入にあたってのご注意

- ・（ ）の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。
- ・空白や計算ミスがあった場合は、修正の依頼や電話での確認をする場合もありますので、必ずコピーを取っておいてください。
- ・記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、平成26年6月30日（月）までにご返送下さい。

(I) 基本情報（事業所データ）

①事業所名及び担当名					②事業所番号	
③所在地					④施設定員数 (H25.12.1時点)	人
⑤開設主体	1. 営利法人 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. その他()				⑥開設年月 (西暦)	年 月
⑦担当者連絡先					⑧担当者メールアドレス	
⑩要介護度別利用者数(人) (H25.12.1時点)	要支援1	要支援2				
	要介護1	要介護2				要介護3
⑪併設している施設 (H25.12.1時点)	①医療機関併設 ②介護施設併設 ③その他併設 ④単独 ※介護施設とは、介護の施設サービスを提供している特別養護老人ホーム等をいいます。 ※その他には、居宅介護支援事業所や訪問介護事業所等をいいます。					(複数回答可)

(II) 基本情報（職員体制）（平成25年12月分）

	常勤		非常勤		常勤換算 人数
	専従	非専従	専従	非専従	
生活相談員	()人	()人	()人	()人	()人
看護職員	()人	()人	()人	()人	()人
介護職員	()人	()人	()人	()人	()人
機能訓練指導員	()人	()人	()人	()人	()人
歯科衛生士	()人	()人	()人	()人	()人
管理栄養士	()人	()人	()人	()人	()人
事務員	()人	()人	()人	()人	()人
その他の職員	()人	()人	()人	()人	()人
総常勤換算人数					()人
1ヶ月のうち、常勤の職員が勤務すべき時間数 (常勤職員1日の勤務時間×常勤職員の12月の勤務日数)					()時間

※平成25年12月分の従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表に基づいて記載ください。また、平成25年12月分の従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表についてご提出ください。

※常勤換算人数とは、当該事業所の職員の1ヶ月の合計勤務時間を当該事業所において1ヶ月のうち常勤の職員が勤務すべき時間数で除することにより、当該事業所の職員の人数を常勤の職員の人数に換算した人数をいう。

※常勤換算人数については、小数第2位を切り捨ての上、小数第1位までの記載をお願いします。

※管理者が専従の場合は「その他の職員」として計上してください

(Ⅲ)評価指標・評価検討指標の実施状況（平成25年1月～12月）

●・・・評価指標（評価対象）

▲・・・次年度以降に指標として検討している項目（評価非対象）

(1)資格取得に向けた支援、継続的な能力開発の実施

調査期間（平成25年1月～12月）で実際に事業所が助成をして、資格取得した職員数を記載してください（※1）。さらに助成している資格名称には、助成している資格の種類を記入ください。（介護福祉士等）

●事業所が助成をして、資格取得した職員数	人	助成している資格名称（複数回答可）	
----------------------	---	-------------------	--

※1 就業規則やその他事業所が定める内規等に規定されている資格取得に係る現金での助成が対象となります。

(2)専門的ケア習得に向けた研修参加への支援

平成25年1月から12月の間に、①外部団体（岡山県老人福祉施設協議会や岡山県通所介護事業所協議会等）、あるいは外部講師による専門的ケア習得に向けた研修会、講習会、研究会等（以下、「外部研修」とする）に参加した職員の人数を記載してください。また、同じ期間に、②事業所（法人）内部の職員が講師として、専門的ケア習得のための研修会、講習会、研究会等（規模の大小は問わない。以下、「内部研修」とする）に参加した職員の人数を記載してください。さらに、各事業所が作成している研修計画及び研修実績の提出をお願いします。（研修実績の様式は別添参照）

●①外部研修（※1）への参加状況（※2）	参加人数（延べ人数）（※3）	()人
▲②内部研修への参加状況	参加人数（延べ人数）（※3）	()人
●③岡山市主催の研修会の参加回数（※4）（※5）	参加回数	記載不要

※1 「外部研修」の対象は職務として参加した研修とし、勤務時間外に自費で参加した研修は含みません。また、③岡山市主催の介護職員スキルアップ研修への参加も含みません。

※2 評価指標である①は、外部研修への参加状況（延べ人数／職員数（常勤換算人数））で評価します。

※3 複数日（例えば3日間）にわたる研修に1人で参加した場合、「1人」とする。

※4 ③については岡山市がカウントしますので、記載不要です。

※5 評価指標である③は、岡山市主催の研修会の参加回数で評価します。

(3)職員が安心して働ける環境の整備

①職員の年次有給休暇取得状況、②離職状況及び③新規採用者数（新卒、中途）について記載してください。なお、①～③とともに数値の根拠資料の提出を求める場合もございます。なお、事業所間での異動があった場合は平成25年1月1日時点で在籍している事業所で算出してください。

▲①職員の平均年次有給休暇取得状況	年次有給休暇を付与されている職員数(a)（※1）	年次有給休暇付与日数の合計(b)（※2）	年次有給休暇を取得した日数の合計(c)（※3）
	()人	()日	()日

※1 a・・・年次休暇を付与されている職員数（平成25年1月1日時点で在籍している職員）

※2 b・・・aの職員のうち、平成25年1月1日以前で直近の年休付与日数の合計（繰越分は除く）

※3 c・・・aの職員のうち、bの年休付与日から1年間のうち年休を取得した日数の合計

▲②離職状況	H25.1.1時点の職員数(A)	H25.1.1～12.31に退職した職員数(B)	Bのうち、新卒採用者で採用日から3年以内に退職した職員数(C)	Bのうち、中途採用者で採用日から1年以内に退職した職員数(D)
	()人	()人	()人	()人

▲③新規採用者数（新卒、中途）	H25.1～H25.12間での新卒採用人数	H25.1～H25.12間での中途採用人数	合計
	()人	()人	()人

(4)状態像の維持改善

平成25年1月1日時点で事業所を利用しており、かつ12月31日の間で、更新又は変更申請して、非該当になった者（以下、「介護保険サービスからの卒業生」という）の人数を記載してください。

▲①介護保険サービスからの卒業生の人数	()人
---------------------	------

(5) 口腔ケアの提供

平成25年1月から12月の間に、専門家が行った口腔体操や嚥下体操等の集団指導の実施状況について記載ください。

▲①集団指導の実施の有無	1. あり 2. なし
▲②集団指導の実施頻度	1. 年____回程度実施 2. 月____回程度実施 3. 週____回程度実施 4. その他()

(6) 専門的な認知症ケアの提供

平成25年1月から12月の間に、認知症介護実践研修(実践者研修及びリーダー研修)への参加人数を記載ください。また、同期間における認知症総合アセスメント(DASC)の研修への参加人数についても記載してください。なお、参加したという記録が残っている研修が対象となりますので、研修計画及び研修実績への記載があることが必要です。

▲①認知症介護実践研修(実践者研修及びリーダー研修)への参加人数	()人
●②認知症高齢者の受け入れ人数(※1)(※2)	記載不要 人
▲③認知症総合アセスメント(DASC)の研修への参加人数	()人

※1 ②については、日常生活自立度Ⅱ以上の人数をカウントしますので記載不要です。

※2 評価指標ある②は、岡山市主催の介護職員スキルアップ研修のうち、認知症をテーマにした研修会への参加を条件とし、認知症高齢者の受け入れ人数(実人数/利用定員)で評価します。

(7) キャリア段位制度への参加

平成25年1月から12月の間における、キャリア段位(アセッサー)研修会への参加人数、キャリア段位(アセッサー)研修の合格者数、内部評価実施人数(キャリア段位における段位認定申請者数)を記載してください。

▲①キャリア段位(アセッサー)研修会への参加人数	()人
▲②キャリア段位(アセッサー)研修の合格者数	()人
▲③内部評価実施人数(キャリア段位における段位認定申請者数)	()人

(8) 機能訓練指導員の体制

(Ⅱ)基本情報(職員体制)同様、平成25年12月の勤務形態一覧表に基づき、常勤換算人数等を記載してください。なお、常勤換算人数については、小数第2位を切り捨ての上、小数第1位までの記載をお願いします。

	常勤		非常勤		常勤換算(※2)人数
	専従	非専従	専従	非専従	
理学療法士	()人	()人	()人	()人	()人
作業療法士	()人	()人	()人	()人	()人
言語聴覚士	()人	()人	()人	()人	()人
看護師及び准看護師	()人	()人	()人	()人	()人
柔道整復師	()人	()人	()人	()人	()人
あん摩マッサージ指圧師	()人	()人	()人	()人	()人

※1 評価指標である当該項目は、機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数/職員数(常勤換算人数)で評価する。

※2 常勤換算人数とは、当該事業所の職員の1ヶ月の合計勤務時間を当該事業所において1ヶ月のうち常勤の職員が勤務すべき時間数で除することにより、当該事業所の職員の人数を常勤の職員の数に換算した人数をいう。

(9) 生活相談員の体制

(Ⅱ)基本情報(職員体制)同様、平成25年12月の勤務形態一覧表に基づき、常勤換算人数等を記載してください。なお、常勤換算人数については、小数第2位を切り捨ての上、小数第1位までの記載をお願いします。

▲生活相談員のうち、社会福祉士の常勤換算人数	常勤		非常勤		常勤換算(※1)人数
	専従	非専従	専従	非専従	
社会福祉士	()人	()人	()人	()人	()人

※1 常勤換算人数とは、当該事業所の職員の1ヶ月の合計勤務時間を当該事業所において1ヶ月のうち常勤の職員が勤務すべき時間数で除することにより、当該事業所の職員の人数を常勤の職員の数に換算した人数をいう。

(10) 介護職員の体制

(Ⅱ)基本情報(職員体制)同様、平成25年12月の勤務形態一覧表に基づき、常勤換算人数等を記載してください。なお、常勤換算人数については、小数第2位を切り捨ての上、小数第1位までの記載をお願いします。

●介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数(※1)

	常勤		非常勤		常勤換算(※2)
	専従	非専従	専従	非専従	人数
介護福祉士	()人	()人	()人	()人	()人

※1 評価指標である当該項目は介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数/職員数(常勤換算人数)で評価する

※2 常勤換算人数とは、当該事業所の職員の1ヶ月の合計勤務時間を当該事業所において1ヶ月のうち常勤の職員が勤務すべき時間数で除することにより、当該事業所の職員の人数を常勤の職員の数に換算した人数をいう。

(11) 実習生の受け入れ

平成25年1月から12月の間に、介護福祉士実践指導講習を受けた職員、または3年以上の臨床経験を有する理学療法士、作業療法士による受け入れをした実習生の実人数を記載してください。

▲受け入れ実績	受け入れ実人数
	()人

※後日、上記数値の根拠資料の提出を求められる場合があります

(12) 事業所の理念及び目標設定

事業所における理念・目標の有無及び理念・目標の職員共有化について記載してください。

▲①事業所における理念の有無	1. あり 2. なし
▲②事業所の理念の職員共有化	1. 1年に1回以上、従業員に理念について研修機会がある(※1) 2. 施設内に掲示している 3. 文書上だけで定めている 4. その他()
▲③事業所における目標の有無	1. あり 2. なし
▲④事業所の目標の職員共有化	1. 1年に1回以上、従業員に目標について研修機会がある(※1) 2. 施設内に掲示している 3. 文書上だけで定めている 4. その他()

※1 従業員に対して理念、目標について研修の研修については、研修実績に記載があるものとします。

(13) 地域住民等との連携

平成25年1月から12月の間に、①家族を対象とした家族介護者教室の開催回数を記載してください。また、②地域住民が主体となって実施するサロン、クラブ活動等の高齢者の社会参加活動へ講師として参加したり、あるいは、③場所を提供した回数を記載してください。なお、①～③ともに実績の報告書の提出をお願いします。(様式は別添参照)

▲①家族を対象とした家族介護者教室の開催回数	()回
▲②高齢者の社会参加活動へ講師として参加した回数	()回
▲③高齢者の社会参加活動に対する場所の提供	()回

【様式1】平成25年研修実績報告書
 <H25研修実績>

番号	研修参加者 職名	研修参加者氏 名	研修日	研修名	研修内容(50文字以内)	研修時間	開催団体
例	生活相談員	岡山 太郎	9月19日	介護キャリア 段位アセッ サー研修		14:00～16:00	一般社団法人シ ルバーサービス 振興会
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							

8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

※必要に応じて行の高さの変更、行の追加を行ってください。

※当該研修実績とともに各事業所が作成している研修計画の提出もお願いします。

【様式2】平成25年地域住民との連携実績報告書

「項目」欄では下記、3つのうち、1つを選んでください。

- ① 家族を対象とした家族介護者教室
- ② 高齢者の社会参加活動へ講師として参加
- ③ 高齢者の社会参加活動に対する場所の提供

番号	項目	開催日	時間	場所	内容(50文字以内)	開催団体
例	①	5月27日	14:00～16:00	〇〇事業所		〇〇事業所
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						

8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※必要に応じて行の高さの変更、行の追加を行ってください。